

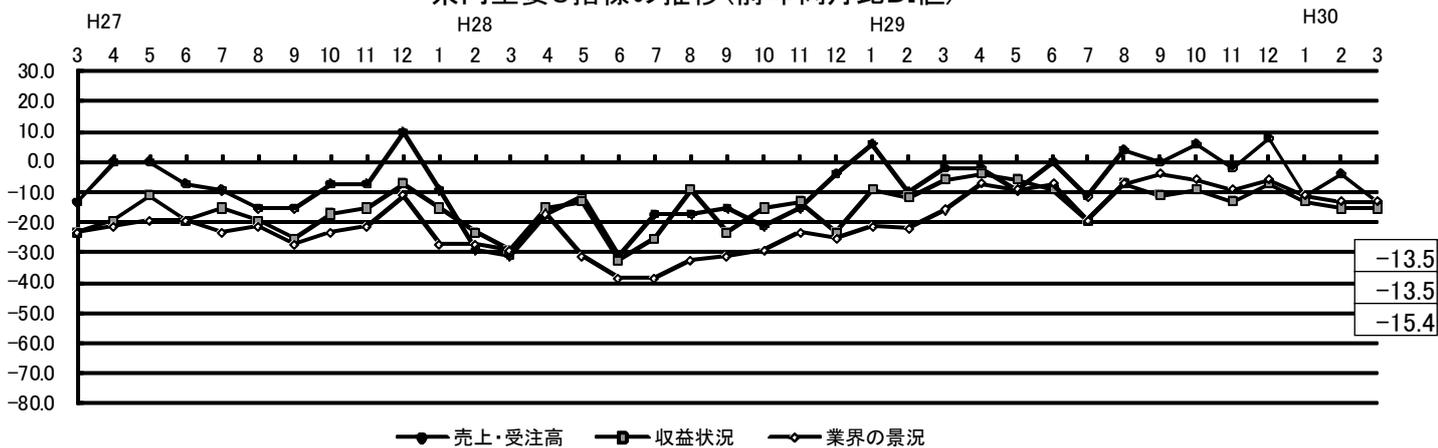
中小企業団体情報連絡員報告結果(平成30年3月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 3月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「在庫数量」が上昇し、「売上高」「販売価格」「取引条件」「設備操業度」「雇用人員」が下降した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より9.7ポイント下降の-13.5ポイント、「収益状況」が前月と変わらずの-15.4ポイント、「業界の景況」が前月と変わらずの-13.5ポイントであった。
- 下落幅が著しかった前月と同様、当月も厳しい結果となった。依然として収益状況が低下を続けている。一部の業種に好転が見られるが、依然としてさらなる製造コストの増大や雇用難・労働力不足が逼迫しているようである。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)

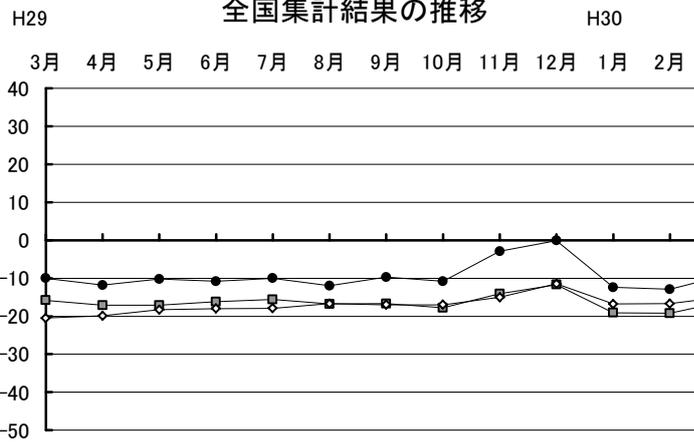


主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-13.5	-9.7	-9.1	+3.8
収益状況	-15.4	±0.0	-16.0	+3.2
業界の景況	-13.5	±0.0	-14.8	+1.9

売上・受注高

当月の県内売上・受注高DI値は、前月より9.7ポイント下降の-13.5ポイントとなった。全国においては、前月より3.8ポイント上昇の-9.1ポイントとなった。

全国集計結果の推移



収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月と変わらずの-15.4ポイントとなった。全国においては、前月より3.2ポイント上昇の+3.2ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月とかわらずの-13.5ポイントとなった。全国においては、前月より1.9ポイント上昇の-14.8ポイントとなった。

-概況-

3月の前年同月比D I値は、前月の前年同月比D I値と比べて、9指標中「在庫数量」が上昇し、「売上高」「販売価格」「取引条件」「設備操業度」「雇用人員」が下降した。主要3指標は、「売上高」が前月より9.7ポイント下降の-13.5ポイント、「収益状況」が前月と変わらずの-15.4ポイント、「業界の景況」が前月と変わらずの-13.5ポイントであった。下落幅が著しかった前月の結果に続き、当月も厳しい結果となった。依然として収益状況が低下を続けるなど、年度末需要の動きを前にして、さらなる製造コストの増大や雇用難・労働力不足も依然逼迫しているようである。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中1業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で6業種中1業種が上昇、4業種が低下した。「収益」は製造業で1業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で1業種が上昇、5業種が不変となった。「景況」は製造業で7業種中2業種が上昇、1業種が低下し、非製造業で1業種が上昇、1業種が低下した。

労働力不足の深刻化、コスト負担増などが主な下押し圧力となっている。企業経営を圧迫しているコスト負担への早急な対応が迫られている。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	×	△	△	△	×	△	△	△	×
繊維・同製品	△	△	△	△	△	△	△	△	△
木材・木製品	△	×	△	△	×	×	△	×	×
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	△	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	△	△	△	△	×	△	—	△	△
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	△	—	○	△	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-75.0	0.0	0.0	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-50.0
繊維・同製品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
木材・木製品	0.0	-75.0	0.0	0.0	-50.0	-50.0	25.0	-75.0	-50.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-25.0	-25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	25.0
鉄鋼・金属	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
製造業	-16.0	-16.0	4.0	0.0	-20.0	-12.0	-4.0	-12.0	-12.0
卸売業	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-14.3	-28.6	28.6	-14.3	-42.9	-28.6		14.3	-28.6
サービス業	-33.3		-16.7	-16.7	-16.7	0.0		0.0	-33.3
建設業	-20.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	25.0	0.0		-25.0	0.0
その他	0.0		50.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-11.1	-10.0	7.4	-7.4	-11.1	-7.4		0.0	-14.8
全体	-13.5	-14.3	5.8	-3.8	-15.4	-9.6	-4.0	-5.8	-13.5

	29年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前月比
売上高	-2.0	-1.9	-9.6	0.0	-11.5	3.8	0.0	5.8	-1.9	7.7	-11.5	-3.8	-13.5	-9.7
在庫数量	-23.5	0.0	-8.6	-14.3	2.9	-2.9	-17.1	0.0	-17.1	-2.9	-28.6	-20.0	-14.3	5.7
販売価格	5.9	1.9	5.8	3.8	3.8	1.9	1.9	1.9	-1.9	3.8	1.9	7.7	5.8	-1.9
取引条件	-3.9	0.0	-1.9	0.0	-1.9	-1.9	-1.9	-5.8	-5.8	-3.8	-3.8	-1.9	-3.8	-1.9
収益状況	-5.9	-3.8	-5.8	-9.6	-19.2	-7.7	-11.5	-9.6	-13.5	-7.7	-13.5	-15.4	-15.4	0.0
資金繰り	-5.9	1.9	0.0	-3.8	-7.7	-5.8	-5.8	-7.7	-7.7	-7.7	-11.5	-9.6	-9.6	0.0
設備操業度	12.5	-4.0	8.0	-4.0	-16.0	-12.0	-12.0	8.0	20.0	8.0	-16.0	8.0	-4.0	-12.0
雇用人員	2.0	-3.8	1.9	-1.9	3.8	5.8	5.8	0.0	1.9	0.0	3.8	0.0	-5.8	-5.8
業界の景況	-15.7	-7.7	-9.6	-7.7	-19.2	-7.7	-3.8	-5.8	-9.6	-5.8	-11.5	-13.5	-13.5	0.0

図表3～【指標別DI値の推移】

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-50.0	50.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
繊維・同製品	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	-25.0	0.0	50.0
木材・木製品	75.0	-50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-100.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	0.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	25.0	0.0	0.0	-25.0
製造業	-4.0	0.0	0.0	0.0	-4.0	8.0	-12.0	-4.0	8.0
卸売業	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	/	0.0	0.0
小売業	42.8	14.3	0.0	0.0	14.2	-14.3		14.3	28.5
サービス業	-50.0	/	-16.7	-16.7	0.0	-16.7		-16.7	-50.0
建設業	-40.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	-25.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-25.0
その他	-50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-50.0
非製造業	-14.8		20.0	-3.7	-3.7	3.7		-7.4	-7.4
全体	-9.7	5.7	-1.9	-1.9	0.0	0.0	-12.0	-5.8	0.0

特記事項

情報連絡員報告（平成30年3月分）

所属組合	特記事項
酒類製造業	新年度4月よりいよいよ栃木ディスティネーションキャンペーンを迎える。鬼怒川・川治温泉旅館（協）とのコラボレーションで、「栃木の地酒まつり」を4月～6月の毎月1日～7日、温泉組合の1階で開催、栃木県の名蔵元32社が出店し、ワンショット100円で提供する。
綱・網・レース・ 繊維粗製品製造業	今月も相変わらず業界内の動きは鈍い。年末からのシーズン予想から比べると随分下方修正である。 ただし、関西方面の取引先でも海外アパレルに積極的にアプローチしている所は比較的活発な動きが見られるので、我々も動きを注視していきたい。
一般製材業	3月は年度末であったが、この一年全体を通じて非常に厳しい年であった。雇用人員（社員）は減らすことができないため、外注の大工の数を減らすなどの対応で少しでも人件費を抑えてきた。4月以降の見通しもなかなか良い状況とは言えない。
木材・木製品製造業	店舗や、施設物（保育園、集会所、老健など）の仕事が多い年度末となった。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に代わりはない。また、組合員数が減少している。
石灰製造業	建材関係が若干落ち込んでいるが、農業関係、鉄鋼関係はまずまずの推移で来ている。売り上げは若干伸びてはいるが、昨年と比較すると大きく変わらない状況である。
陶磁器製造業	4月28日～5月6日まで「益子春の陶器市」を開催予定。販売店舗約50店舗のほか約500のテントが立ち並び、伝統的な益子焼から、カップや皿などの日用品、美術品まで販売される。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> 自動車部品関連…自動車関連は微増。 機械設備関連…半導体関連、自動車関連、工作機械微増。 プレス金型関連…自動車部品関連、工作機械関連は微増続く。
一般機械器具製造業	前年同月と比較し、全般的に売上高等はやや増加、一部仕入れ単価の上昇もありという報告を受けている。全般的には不変状況傾向である。注引量がやや増えているという感覚はあり、それに伴い操業度も増加、相変わらず人手不足、増産対応が厳しいという報告も受けている。
一般機械器具製造業	相変わらず景気上昇傾向を感じる事ができない状況である。一部に良い所もあるが全体的には程遠い状況と判断している。
各種商品卸売業	<p>例年開催している団地内の新人社員を対象とした研修会（平成30年度は4月4日）を開催しているが、過去5年間の受講者数は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度22名、27年度23名、28年度24名、29年度16名、30年度13名。 <p>26～28年度までは概ね右肩上がりで推移してきたものが、有効求人倍率の改善が鮮明となってきた29年度には16名、30年度には13名と減少傾向に転じ、計画のとおり新卒者を確保することができなかったとする企業が多かった。各社とも人材会社をお願いして合同面接会等に参加したものの良い結果を得ることができなかったとした企業も何社かあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化が今後益々進展することが予想されるとともに、中小企業の労働力不足（特に若年者）が今後一層深刻化することが懸念される。
食肉小売業	国産食肉の仕入れ価格も落ち着き、安定してきた。売り上げも微増。売価は変わらず持ち合っている状態にある。

各種商品小売業	春先に向け、衣料品等売上げの上昇する3月だが、2月からの寒波続きで、小売業の客数が減り苦戦の3月だった。一般的に全業種不調の月になった。
各種商品小売業	半期に一度の「お客様特別招待会」が3月末に実施され、前年比110%を超える売上を獲得することができた。結果として、月全体としても前年をクリアし、今期幸先の良いスタートを切ることができた。日々の営業は依然として厳しい状況が続くと予測されるが、地域のお客様と共に発展していけるよう地域密着の精神を忘れずに営業活動に励んでいきたい。
花・植木小売業	2月の寒波の影響で全体に遅れ気味となり、昨年比では入荷減・単価高の状況が続いたが、お彼岸の仕入れ商戦の本番前には昨年とほぼ同じ相場となった。彼岸入りは天候にも恵まれ仏花がよく売れたが、春分の日からは午後から雪交じりの雨となり、それ以降の出足は彼岸明けまで鈍かった。後半は年度末の送別需要で店頭は注文を含め花がよく売れた。
自動車整備業	繁忙期にあたる月であったが、売上高の減少が続く状況にある。新年度、新たな改善策が必要であると考えている。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率に関してはここ数年のトレンドのまま全体的に上昇している。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門は多様化しており、ホテル利用が全てではなくなっている。 2月半ばからのスローペースが3月半ばまで続き、全体として売上げが減少した。3月末の年度末需要や歓送迎会は例年通りではありましたが、3月としては非常に物足りなさを感じる結果となった。
ビルメンテナンス業	構内作業請負の仕事が引き続き増えており、収益も向上している。
給食センター	売上高は昨年あったスポットの売上がないため減少となった。現状として、米や野菜等の食材の値上げによりコストアップとなり、厳しい状況であるが、新規の得意先の開拓・新商品の開発・コストダウンにより、収益を改善する。
一般貨物自動車運送業	荷物情報量は順調に推移しており、運賃料金は微増ながら回復傾向を示している。しかしながらドライバー不足によるコスト増加は避けられず最大の問題である。
貨物軽自動車運送業	3月度の荷動きは決算期ということもあり堅調に推移した。特に、引越関連貨物は繁忙期に入り、学生や単身赴任者などの引越業務が増大したものの、人手不足により需要に供給が追いつかず、配車不能となり大きな機会損失を招いた。 ※近年、高齢や健康問題を理由に、脱退職業を余儀なくされる組合員が増加し、漸減傾向に歯止めがかからない状況下にある。
一般乗用旅客自動車運送業	3月は、歓送迎会等で年末に次いで繁忙期にあたるのだが、前年と比較すると若干減少がみられた。
大谷石採石業	<ul style="list-style-type: none"> ・貼石関係は、前年同月比でほぼ同じで推移。 ・積石関係は、1割位減。 4月1日の価格UPの改定は、貼石関係はほとんど影響はないが、積石関係は打撃は大きく、他の石や人造大谷石を含むブロックへ需要を奪われている。